

VALUENEX株式会社
東証グロース：証券コード4422

2026年7月期第2四半期 決算補足説明資料.

2026年3月12日

VALUENEX

項目

1

2026年7月期第2四半期業績報告

2

2026年7月期連結業績予想

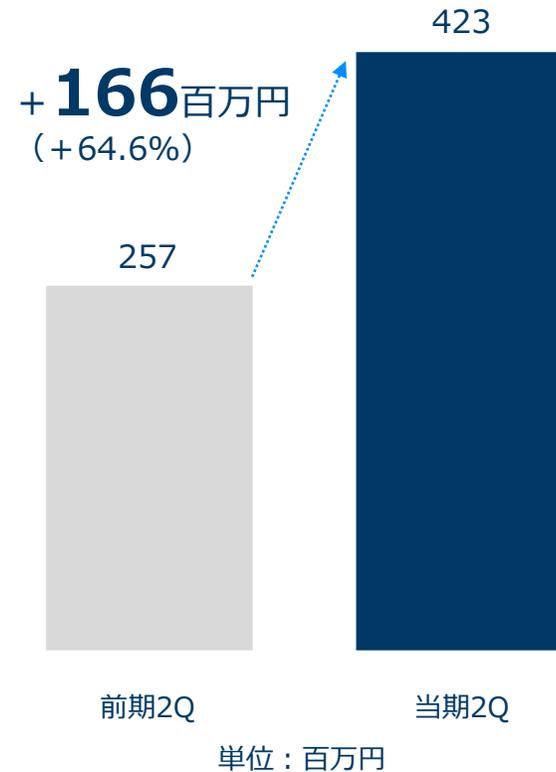
3

事業概要

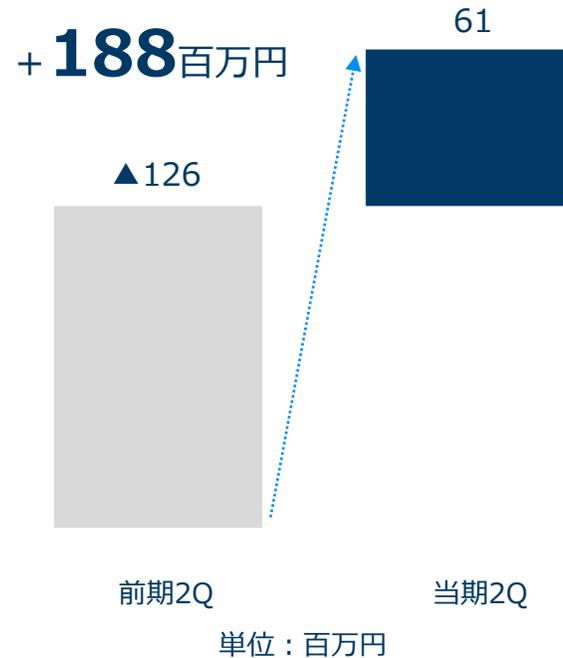
26年7月期 第2四半期 決算ハイライト

売上高は前年同期比+64.6%と伸長し、2Qとして上場後、**過去最高**。
 増収効果とコスト削減により、営業損益は**+188百万円**の大幅改善、**黒字化**。

売上高の推移



営業利益の推移



収益構造と足元の状況

1. 構造的な下期偏重型モデル

当社売上は顧客予算等の関係で下期に偏重する傾向にあります。
 (上期39.9%：下期60.1%※)

2. 足元の状況：大幅改善による黒字転換

例年損失計上となる2Qにおいて、今期は大幅な増収効果とコスト削減が奏功し、黒字化を達成。

3. 今後の見通し

顧客動向を慎重に見極めつつ、主力となる下期に向けて進行中案件の受注と売上計上に注力します。

26年7月期 第2四半期 連結業績概要

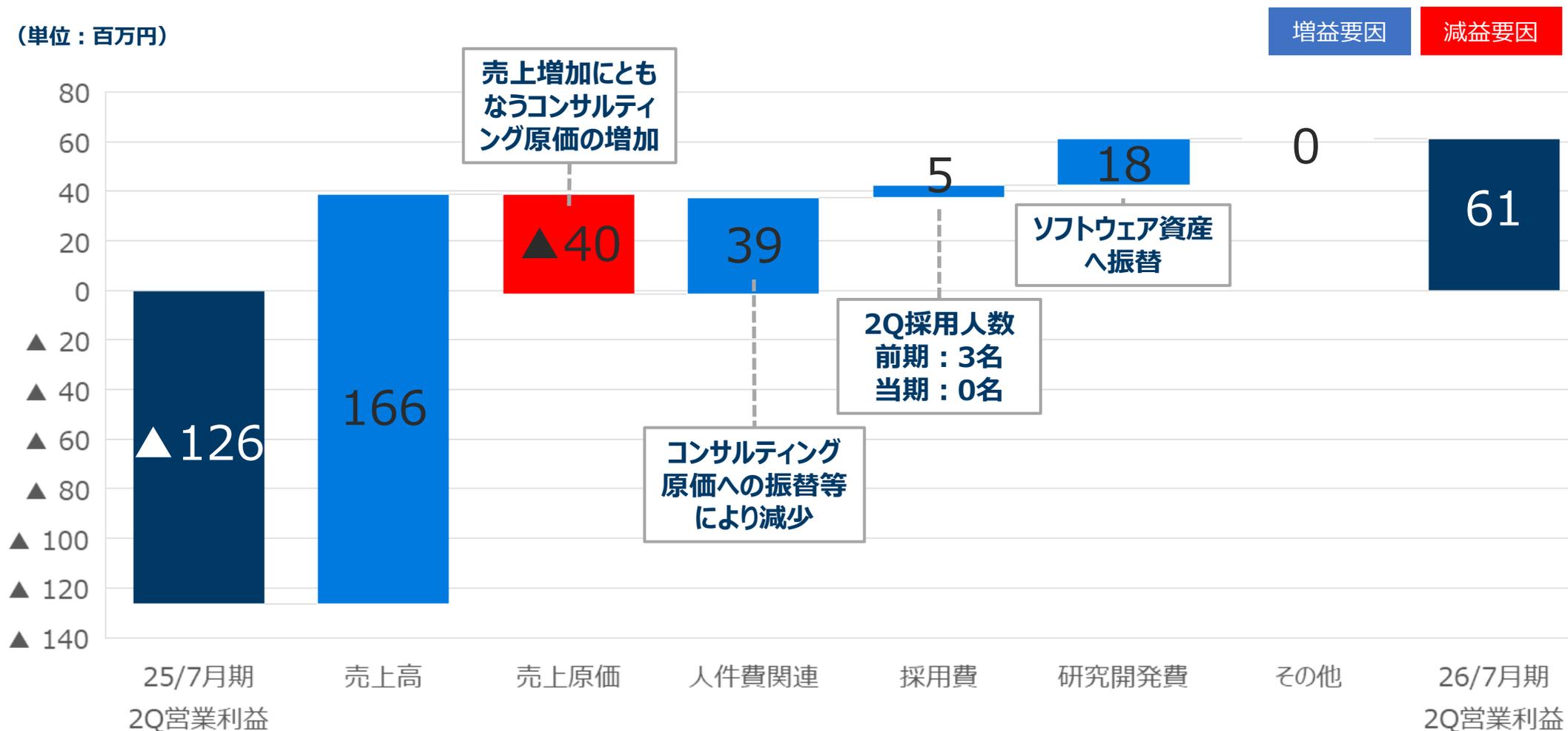
売上高が2Qとして上場後過去最高（+64.6%）を更新、コスト削減も寄与し、
営業損益は前年同期比で+188百万円の大幅改善、**黒字転換**。

(単位：百万円)	25年 7月期 2Q 実績	26年 7月期 2Q 実績	YoY 増減	
売上高	257	423	+64.6%	◎ コンサルティングが好調
売上原価	58	99	+69.1%	○ コンサルティング売上増に伴う、遂行費の増加
売上総利益	198	323	+63.2%	○
売上総利益率	77.1%	76.5%	▲0.6pt	○ コンサルティング売上増が要因
販管費	324	261	▲19.4%	○ コスト削減、売上原価への振替等
営業利益	▲126	61		◎ 黒字転換
営業利益率	▲49.1%	14.6%	+63.8pt	◎
経常利益	▲126	64		◎ 黒字転換
親会社株主に帰属する当期純利益	▲125	64		◎ 黒字転換

26年7月期 累計連結営業利益増減要因

主に売上が増加し、増益しました。

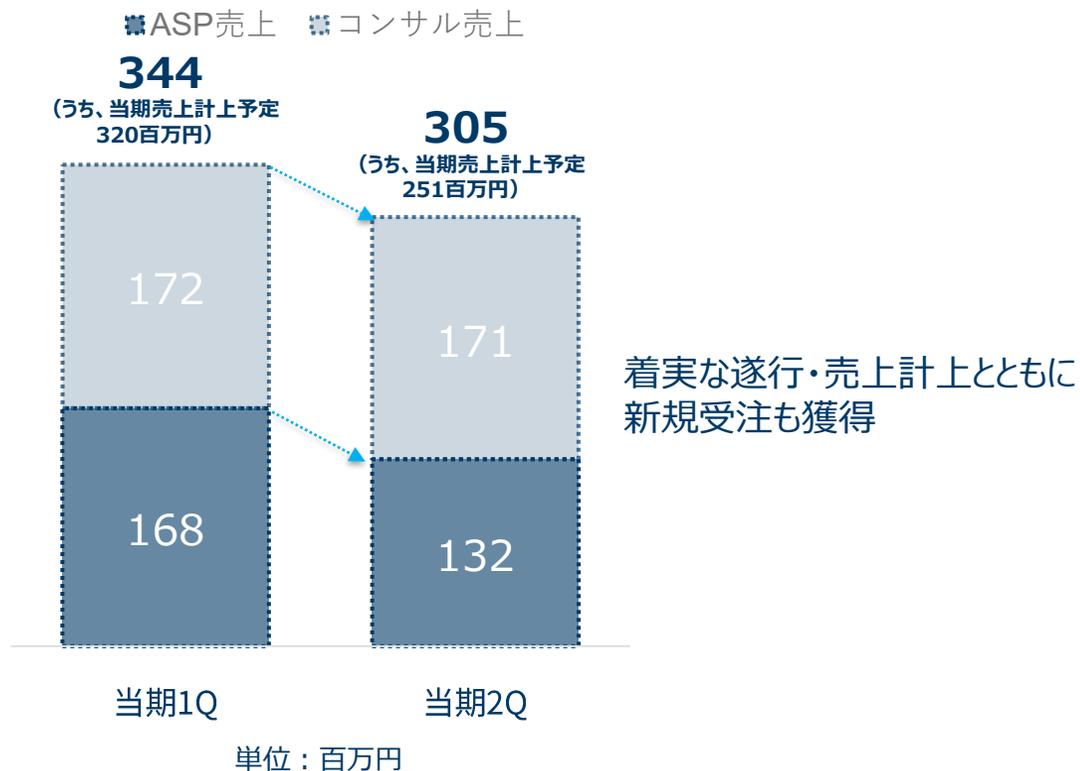
売上増加にともない人件費を中心に販管費から原価への振替が大きくなったため、原価が増加し販管費が減少しております。



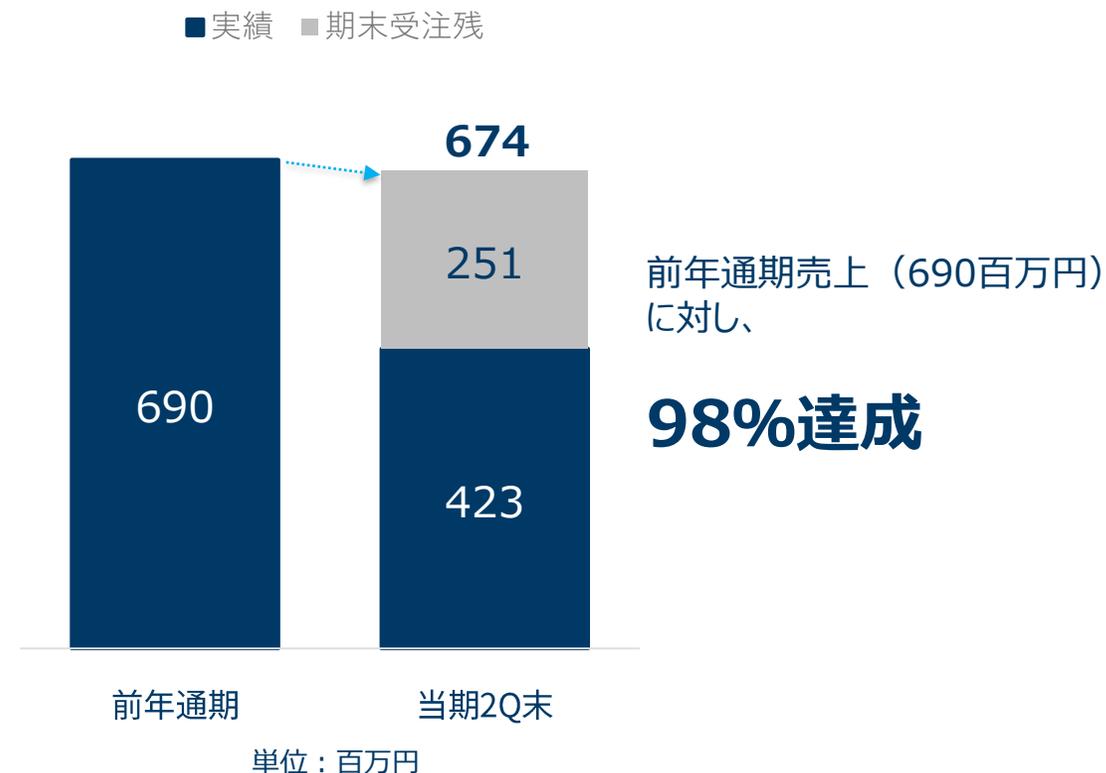
26年7月期 第2四半期 期末受注残と通期に向けた状況

2Q時点での実績+受注済みの売上が前年通期売上に対し98%と順調な推移となりました。

期末受注残※の推移



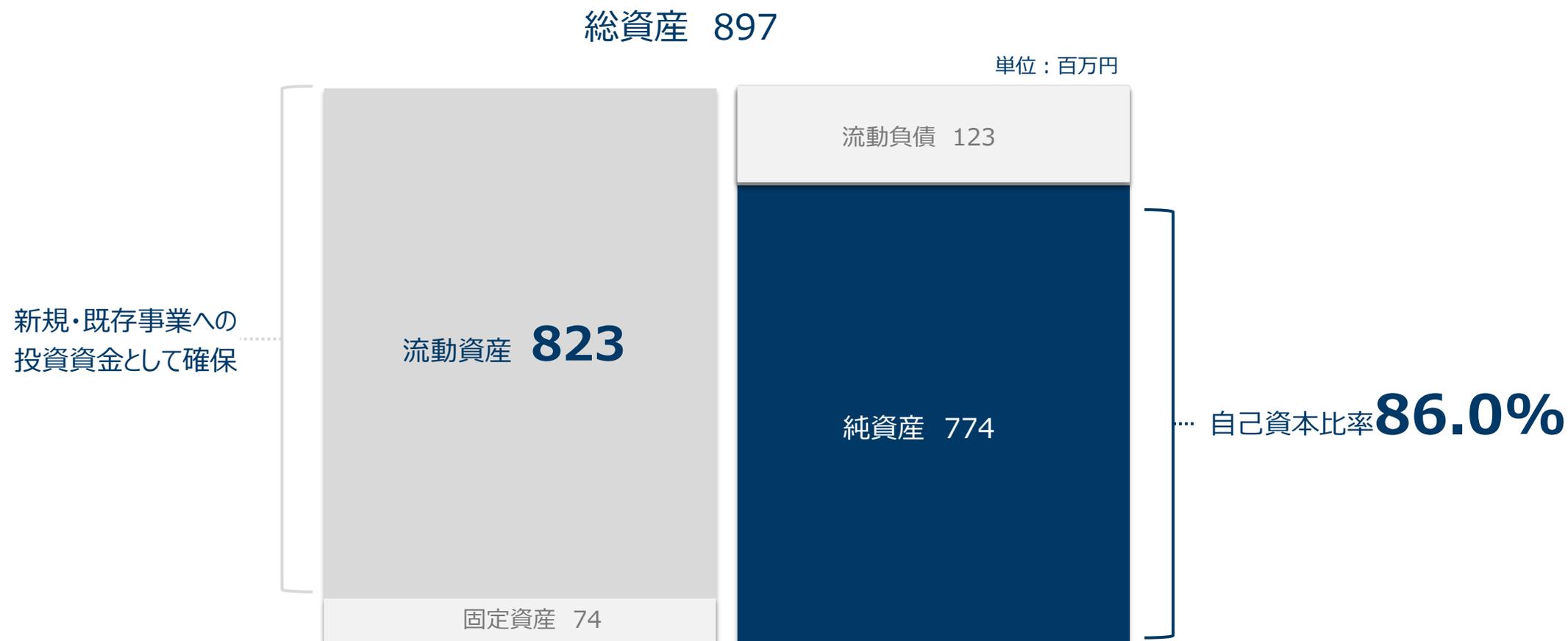
実績+期末受注残※ (当期売上計上予定分)



※受注残高は現時点での契約に基づきますが、顧客都合による期中の変更・解約等の可能性が完全にはありません。
※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

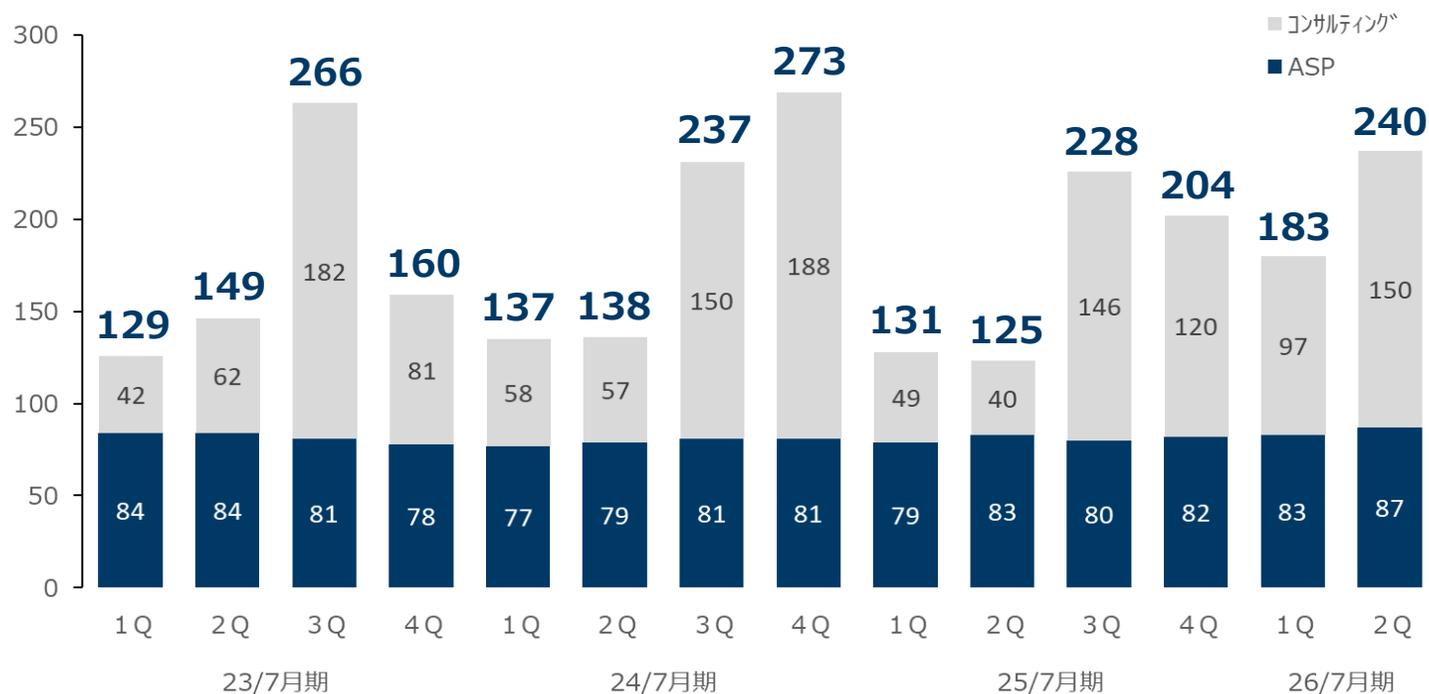
26年7月期 第2四半期 連結貸借対照表の状況

自己資本比率86.0%の極めて健全な財務基盤・無借金経営を維持しています。



連結売上高の推移（サービス別）

コンサルティング・ASP・売上合計すべてにおいて前年同期を上回りました。



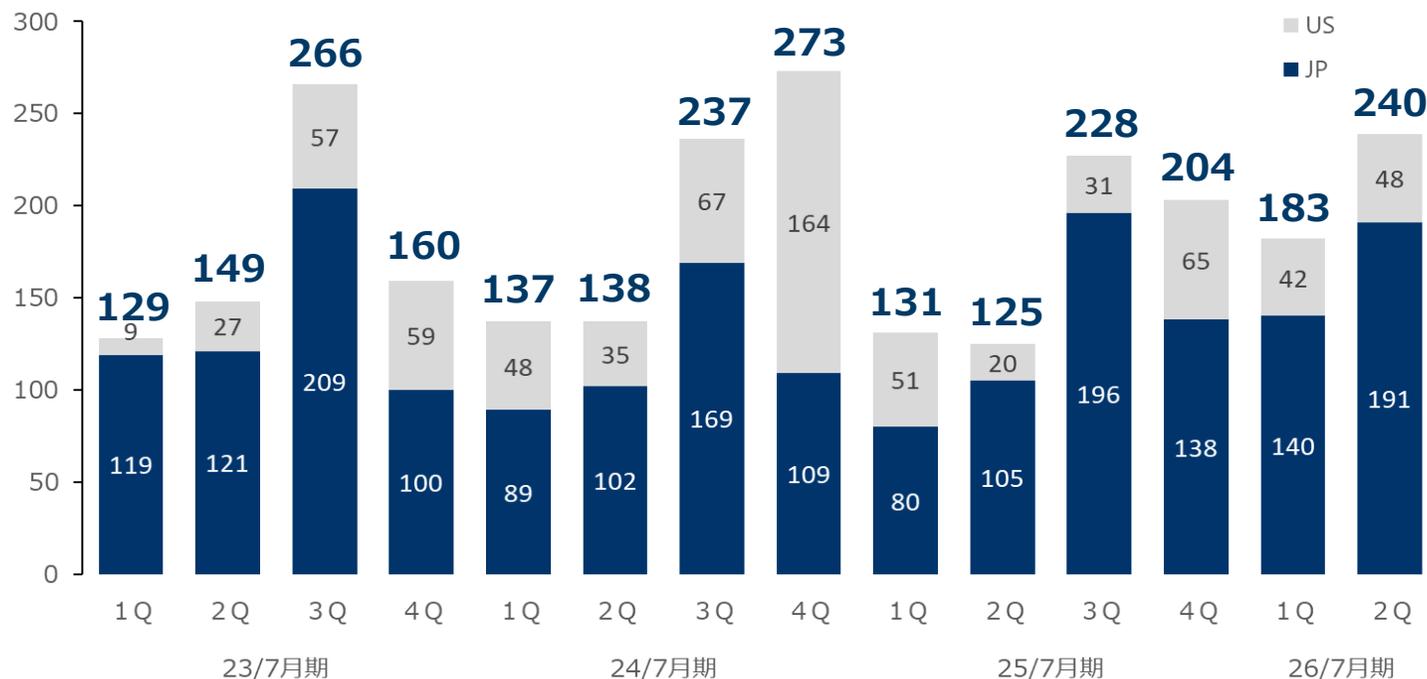
2Q	前年	実績	前年比
合計	125	240	+90.9%
コンサルティング	40	150	+275.3%
ASP	83	87	+5.2%

単位：百万円

※コンサルティングとASP売上以外に、データ販売やレポート販売等のその他売上もありますが、少額のため合計値にのみ合算しております。

連結売上高の推移（地域別）

US・JP・連結のそれぞれで前年同期を上回りました。



2Q	前年	実績	前年比
連結	125	240	+90.9%
US	20	48	+134.3%
JP	105	191	+82.4%

単位：百万円

VALUENEX, Inc. (米国) 第2四半期主な活動状況

営業活動

- 日系大手のシリコンバレーでのイノベーション活動を支援する大型パッケージプランを遂行中です。
- 秋季および春季において、スタンフォード大学のインターンを活用したグローバル・インターンシップ・プロジェクト（お客様の課題解決（特にAI関連）に関わるアイデア出しからプロトタイプ作成までを支援するサービス）を受注し、遂行中です。
- サンフランシスコ駐在ブラジル領事館向けプロジェクトが完了し、継続案件に向けた協議が進行中です。

マーケティング

- 2025年12月開催の量子コンピュータのビジネスカンファレンスであるQ2B Silicon Valley 2025にパートナー企業として参加しました。

開発

- LLM(Large Language Model)を活用した新しいサービスを開発中です。
- データを統合・構造化し、Radarの可視化およびLLMを活用した高度解析を実現する新サービスについて開発企画中です。

採用

- グローバル・インターンシップ・プロジェクトに参加のインターンを正社員として採用しました。

第2四半期の取り組み・記事掲載

■ VALUENEX、新サービス「Radar Tech Intelligence」正式提供を開始 － 技術の“いま”を一目でつかむ

2025年11月28日、新サービス「Radar Tech Intelligence（以下、RTI）」の提供を開始しました。本サービスは特許×俯瞰解析×生成AIを組み合わせ、レポート1本で技術の全体像（構造・動向・主要プレイヤー・新興領域）を提示し、数クリックで経営・技術営業支援・R&D・投資判断・技術教育などを支援します。

[https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000046.000028558.html](https://prt看mes.jp/main/html/rd/p/000000046.000028558.html)

■ 島津製作所の1,000億円超のTescan社買収、技術的補完性を示す資料としてVALUENEXの俯瞰解析が採用

株式会社島津製作所（以下、島津製作所）が2025年12月25日に発表したチェコ共和国のTescan Group a.s.

（以下、Tescan社）の買収に関する説明資料において、島津製作所とTescan社の技術領域の補完性を示す資料としてVALUENEXの解析による両社特許データのマッピング図（俯瞰図）が掲載・引用されたことをご知らせいたします。

島津製作所の公表資料では、分析計測機器各社の特許技術領域を俯瞰図として可視化し、島津製作所とTescan社の技術領域が高い補完性を有すること、また両社技術の組み合わせが価値提供につながることを示されています。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/shimadzu-tescan-valuenex>

■ 防衛省 航空自衛隊より「イノベーション活動に必要な技術情報収集及び解析役務 1 式」を受注

この度、防衛省 航空自衛隊より公募された「イノベーション活動に必要な技術情報収集及び解析役務 1 式」を落札し、契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

<https://www.valuenex.com/jp/news-list/20260126/valuenex-20261210-defense>

第2四半期(11~1月) メディア掲載・セミナー登壇一覧

区分	内容	URL
メディア 掲載	2025年12月 3日 <書籍> 弊社CEO中村が執筆に参加した『IPランドスケープの取り組み事例と実施体制の構築』が発売	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20251203/nakamura-business-strategy-book-release
	2026年 1月 9日 バフェットコードに当社のレポートが掲載されました	https://www.buffett-code.com/research_reports/018169e198c689e71f0049
セミナー 登壇	2026年11月19日 <2025/12/18> 技術情報協会様主催オンラインセミナーに弊社CEOの中村が登壇	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20251119/seminar-gijutujoho
	2026年 1月29日 【開催報告】航空開発実験集団（防衛省航空自衛隊）主催の研究開発シンポジウムに当社の宮崎が登壇	https://www.valuenex.com/jp/news-list/20260129/defencetech

開発の状況

1. Radar Tech Intelligence (RTI)※の改良
2. Radar QFD（開発現場で活用される品質表を自動生成するツール） ※の改良
3. お客様ツール(VALUENEX Radarアプリ)の機能改良
4. VALUENEX Radarの改良
5. インフラ整備

※ Radar Tech Intelligence (RTI)とは

あらゆる特許情報を解析し、業界ごとの技術トレンドを自動でレポート化する新サービスです。

特許×俯瞰解析×生成AIを組み合わせ、レポート1本で技術の全体像（構造・動向・主要プレイヤー・新興領域）を提示し、数クリックで経営・技術営業支援・R&D・投資判断・技術教育などを支援します。

※ Radar QFD とは

AIが顧客のニーズ（欲しいもの）と企業のシーズ（作れる技術）を自動で分析し、結びつけてくれる新製品開発ツールです。

このツールによって、どの技術を優先して開発すればヒット商品に繋がるかが客観的なスコアで示されるため、開発者は迷わず開発に集中できます。

結果として、企画・開発・経営の全員がデータに基づいた共通の目標を持てるようになり、会社全体として「市場が本当に求める製品」を迅速かつ効率的に生み出すことが可能になります。

項目

1

2026年7月期第2四半期業績報告

2

2026年7月期連結業績予想

3

事業概要

2026年7月期連結業績予想

トランプ関税や国際情勢等、当社グループの業績に与える影響が依然として不透明であることから、現時点で損益の合理的な予測が困難な状況となっております。

以上の状況から、当期（2026年7月期）の連結業績予想につきましては未定とさせていただき、今後の業績への影響を慎重に見極め、開示可能となった時点で速やかに公表いたします。

項目

1 2026年7月期第2四半期業績報告

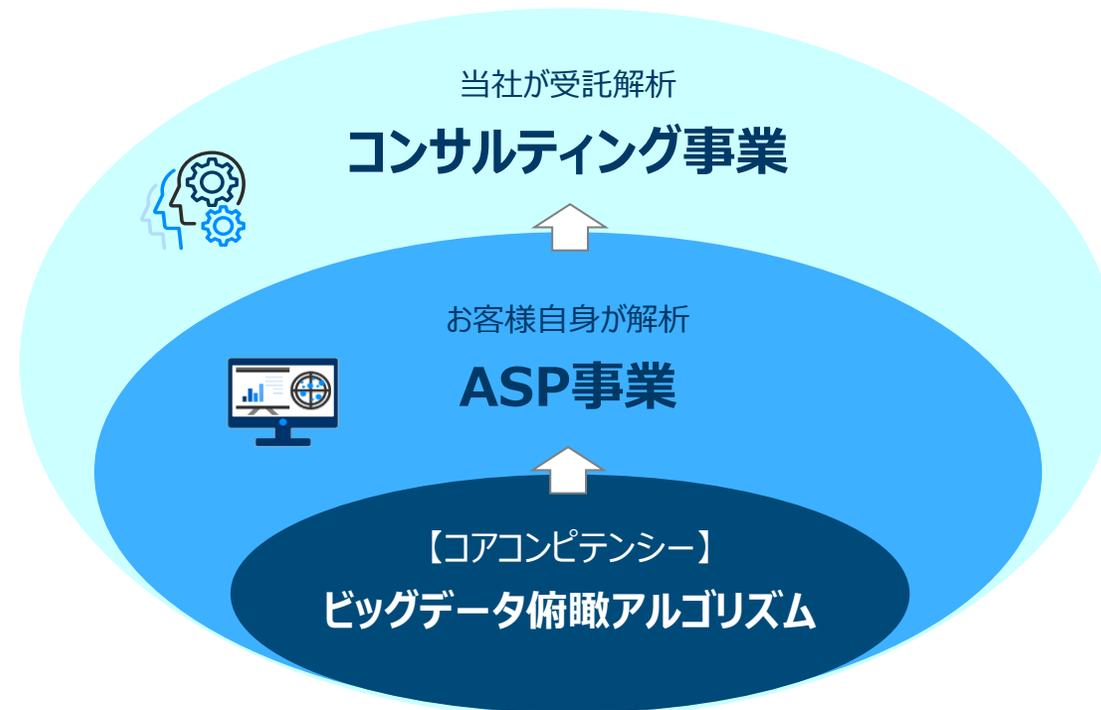
2 2026年7月期連結業績予想

3 事業概要

当社のアルゴリズム事業

当社アルゴリズム事業は主に2つの販売形態から成り立っております。

- ・ 俯瞰解析アルゴリズムを活用したコンサルティング事業
- ・ 当該アルゴリズムを根幹とするASP事業



※ ASP = Application Service Providerの略。インターネット等のネットワークを通じてアプリケーションソフトウェアを提供するサービス

お取引先様例

365

企業・団体

2025年7月31日現在



artience

BRIDGESTONE



"The Natural Power of Plants"

KAJIMA

KURITA

26

業種

2025年7月31日現在



SAPPORO

Kubota



KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY CO., LTD.

※順不同

解くべき課題と解決手法

VALUENEXは企業の経営層や企画・新規事業・研究開発・知財部門が抱える各課題に応じて、ASPサービスとコンサルティングサービスを組み合わせで解決します。

誰の・どんな課題を解決するのか



経営層・企画部門

- ・M&A等の意思決定に必要な情報が不足している
- ・戦略の策定が難しい
- ・自社の取り組みを分かりやすく発信したい



新規事業部門

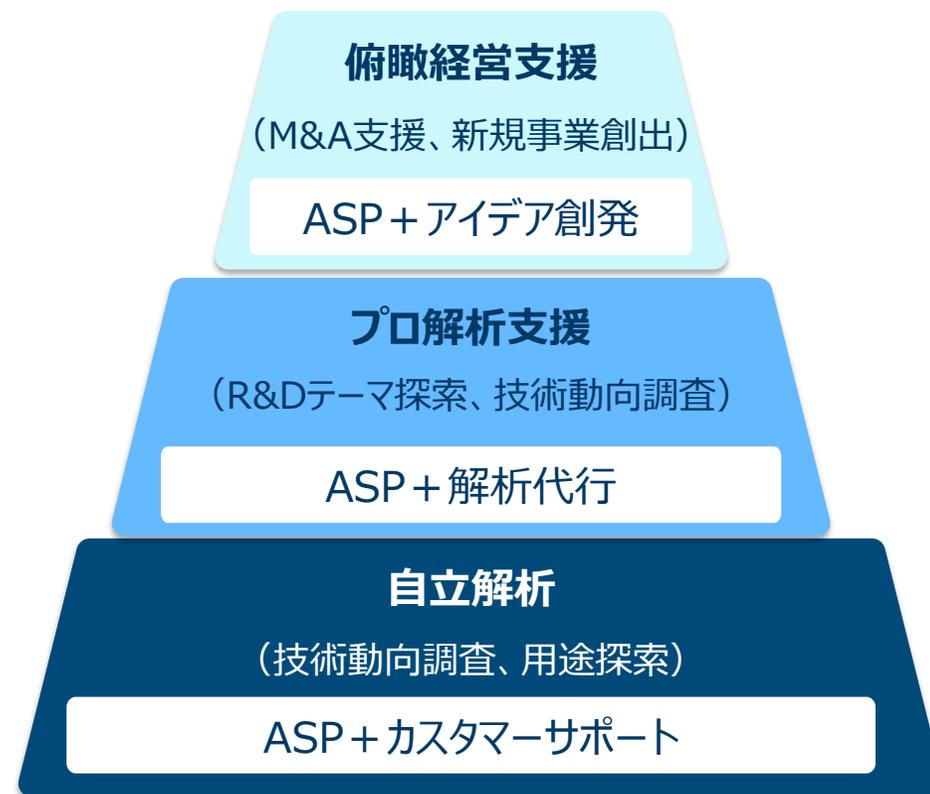
- ・将来有望な市場が見えない
- ・技術シーズと市場を結べない



研究開発・知財部門

- ・研究テーマの方向性が見えない
- ・知財を経営戦略に活かせていない

解決手法 (ASP×コンサルティング)



単価

高

低

主要サービスの概要

お客様自身が利用するASPサービスに加えて、コンサルティングサービスを通じて、お客様のイノベーション活動を支援します。

ASP

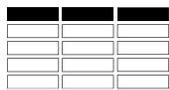
サービス名

Radar



技術・ニュース情報等を俯瞰し、未来の研究テーマ・競合構造を可視化。
「何を研究すべきか」を発見

QFD



製品・技術の優先順位を定量評価。
ノウハウ伝承問題を解決、業務を均質化できる。
「開発設計工数の短縮」を実現

Fusion



社内外データを統合・比較して、投資分野や注力テーマを見える化。
「どこに投資・注力すべきか」を判断

NEW

RTI



あらゆるテクノロジーの動向と企業の強みを生成AIを使って大量分析&大量レポート化。
「技術情報ポータルサイト」の提供

コンサルティング

サービス名

HOT

**俯瞰経営
支援**

M&A候補企業の選定や事業ポートフォリオの再編等をサポート。
「経営の意思決定」をデータドリブンで支援

HOT

G.I.P



Global Internship Projectの略。
スタンフォード大学の優秀なデータサイエンティストを活用した俯瞰経営支援。
「AI×人」で分析～プロダクト開発まで一気通貫支援

**新規事業
探索**

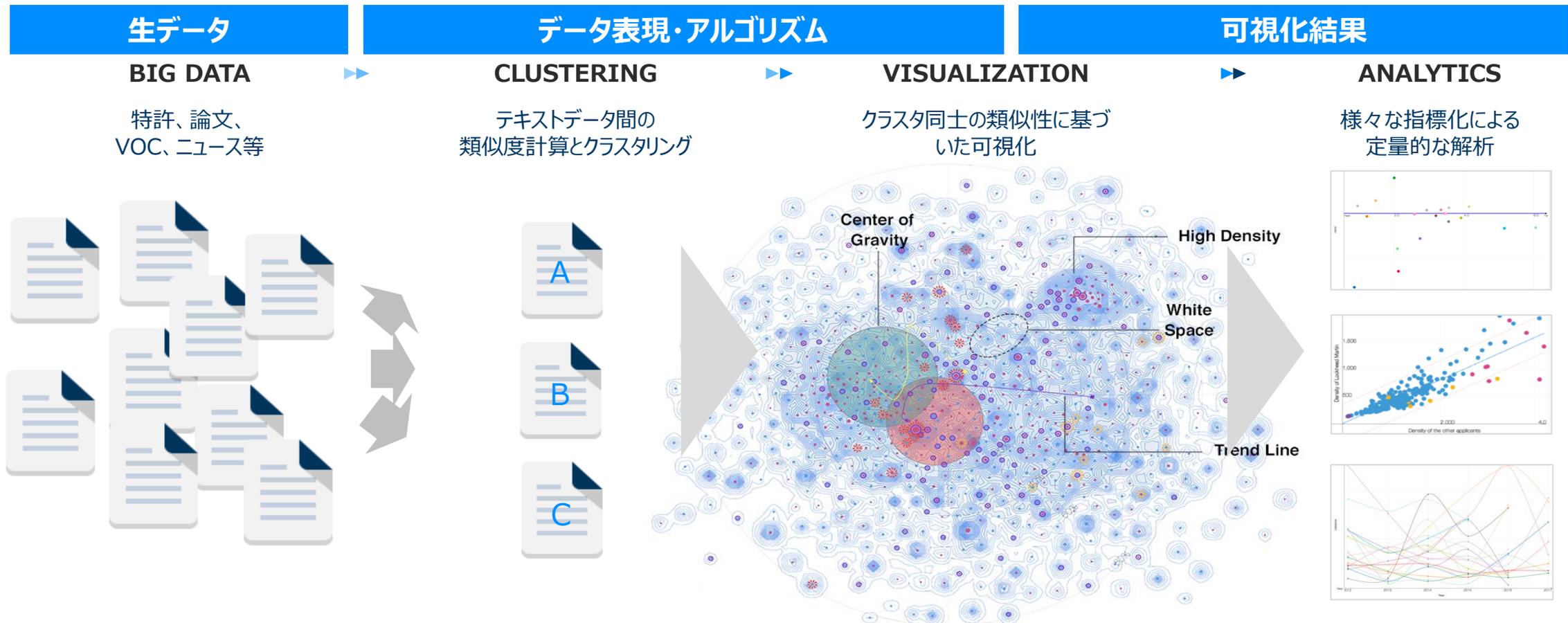
スタートアップ情報・ニュース・論文・知財情報を使い、クライアントの新規事業候補を提案。
「自社技術をどう応用すれば良いか」を提案

**技術動向
調査**

官公庁や企業の研究開発部門向け。専門家がデータ解析結果と知見を組み合わせるインサイトを発見。
「技術動向から読み取れる示唆」を提供

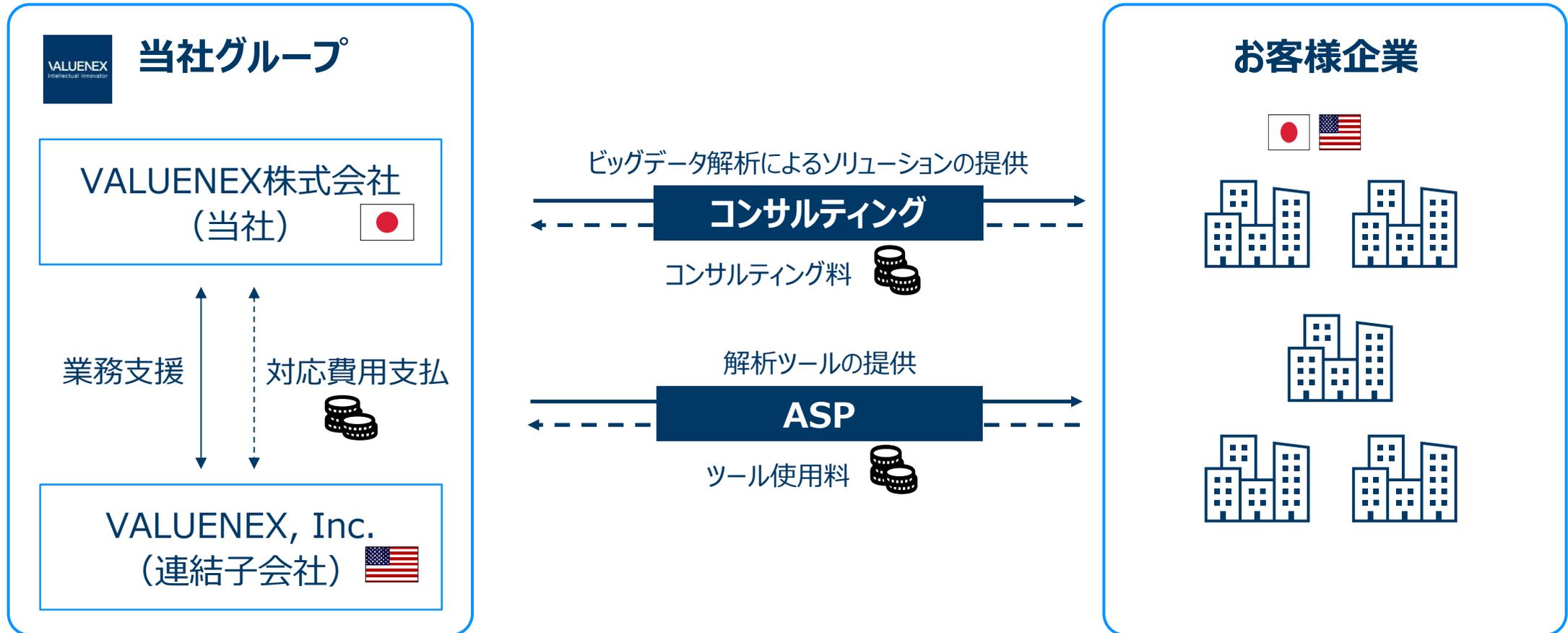
VALUENEXツールの概要

大量のテキストデータ同士の類似性を可視化した俯瞰図により、テキストデータの全体像を把握する手法です。これにより、知的財産、研究開発、マーケティング等に資する知見の獲得が可能です。



事業モデル

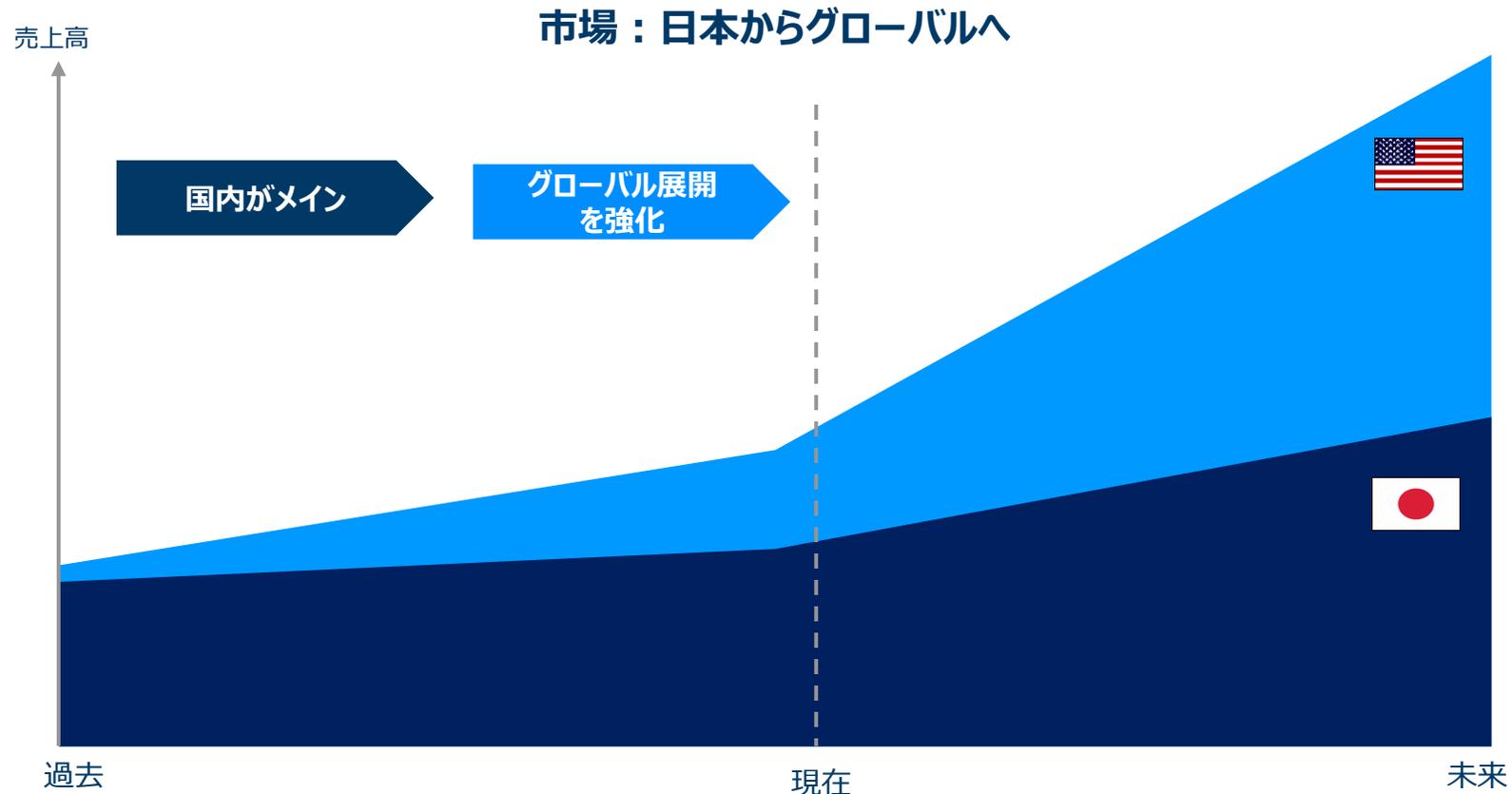
当社独自の解析ツール(ASP)の提供、知的財産等幅広い分野の俯瞰解析から予測分析・戦略活用まで、コンサルティングサービスやレポート販売サービスを提供しております。



注：図中の実線矢印はサービス提供を意味し、破線矢印はお金の流れを意味します。

今後の事業成長イメージ①：ターゲティング

25年7月期は、北米大手顧客の内3社の社内体制変更とトランプ関税の影響、一部案件の成約が遅延していることにより、計画していた米国の売上が減少しました。一方で新規案件は順調に推移しました。
引続き、当社サービスを日米で積極的に展開し、グループ全体の成長を図ります。また、お客様内で発展的に提案解析を進め多くの部署に展開して頂くことで、お客様と共に生涯価値を最大化しロイヤルカスタマーを創出してまいります。



※ イメージ図（実際の業績ではありません）

今後の事業成長イメージ②：ASPの進化と応用による成長サイクル

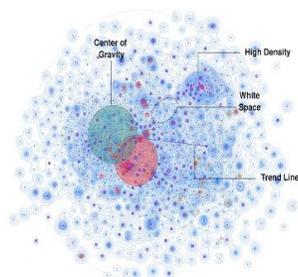
ASPの主力商品であるVALUENEX Radarの進化を核に、Fusion・QFD・Radar Tech Intelligence (RTI) など応用サービスを展開。AI技術で顧客課題の発見から価値創出までを循環的に拡大していきます。25年7月期はRadar QFDの提供を開始しました。引き続き製品・サービスの一層の向上に努め、事業成長に繋げてまいります。



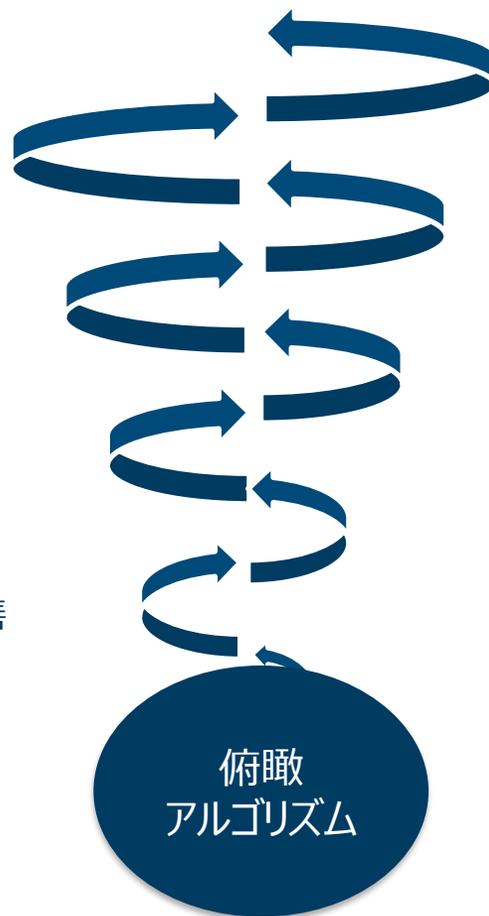
Radarの発展進化
AIエージェント機能の搭載
異業種/職種への対応

Radar-QFD 品質表 (参考用)		品質改善率	
品質項目	改善率	品質項目	改善率
顧客満足度	75	品質管理	25
開発効率	30	顧客対応	13

Radar QFDの提供開始
AIで設計工数の短縮化
開発部門ニーズに対応



Radarの継続的進化
AI自動化・高速化・UI改善
知財部門への浸透



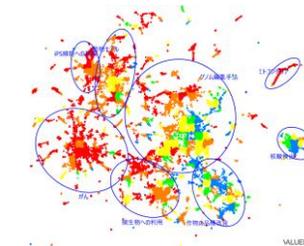
ASPサービス群のグローバル化
グローバルへの対応



Radar Tech Intelligenceの提供開始
未来を読むAIによる技術レポート
企業規模問わず展開可能



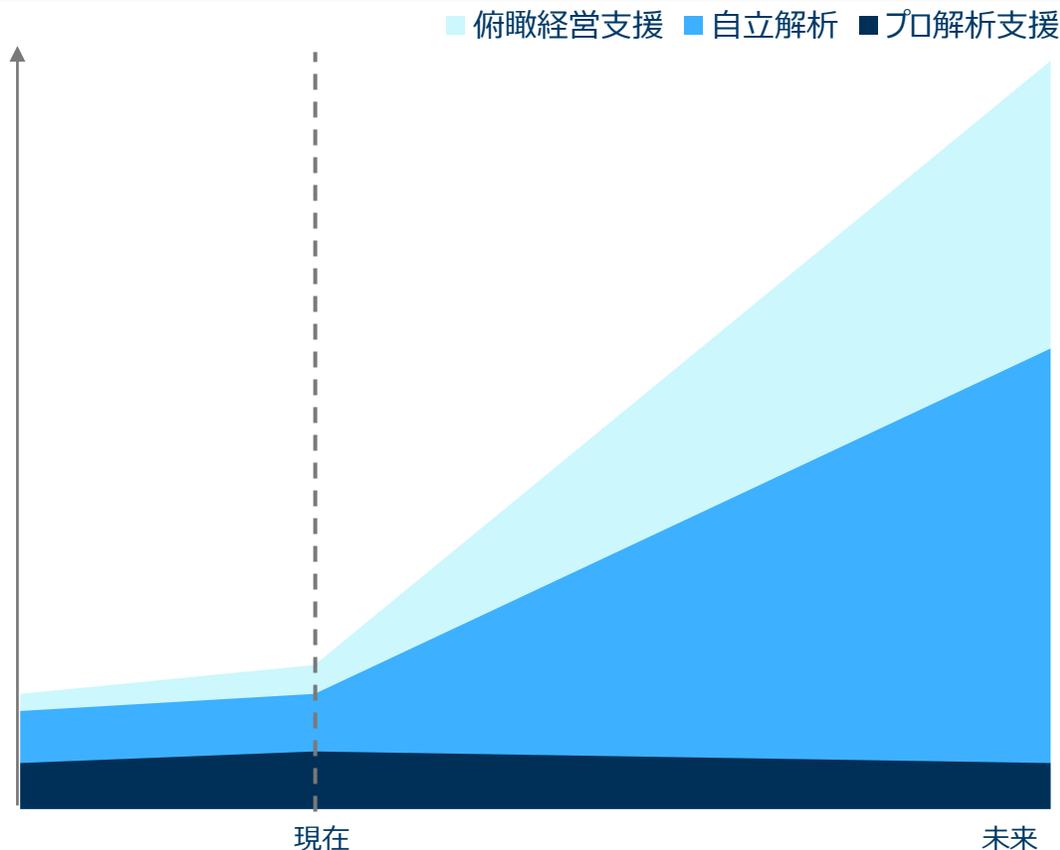
Fusionβ版の開始
異なるデータ同士の融合解析
研究開発部門ニーズに対応



今後の事業成長イメージ③：ASP×人的支援による多層展開

ASPを共通基盤に、人的支援の厚みで層別提供：経営層・新規事業部門には俯瞰経営支援で高単価・質重視、R&D／知財にはASPをメインとした自立解析サービスの拡販を目指し、収益性とスケールを両立します。25年7月期は俯瞰経営支援と自立解析サービス拡販のためのサービス開発を実施しました。26年7月期以降の収益拡大に努めてまいります。

売上高成長イメージ



※イメージ図（実際の業績ではありません。）

営業戦略

概要

注力指標

- 経営層向けの俯瞰経営支援サービスは、拡販に加え契約形態をスポット→継続契約への切替で安定売上へ

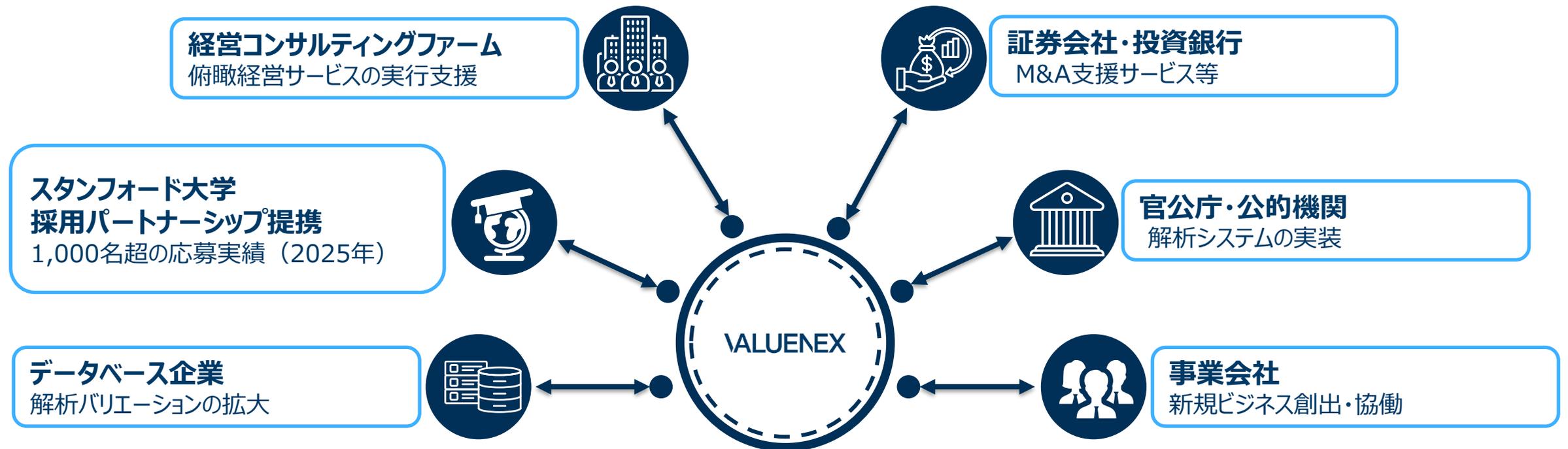
単価
- 自立解析は、プロ解析ナレッジをAI機能に反映し、ASPサービスとして拡販

利用社数
- プロ解析は官公庁及び一部の知財・研究部門向けに絞り、専門家による質の高い成果を提供

質

今後の事業成長イメージ④：グローバルなパートナーシップ

25年7月期はスタンフォード大学との採用パートナーシップ提携により1,000名超のインターン応募実績がありました。また証券会社と連携し、大手企業の経営層へのアプローチを行いました。今後は、既存提携先との深化に加え、コンサル／証券・投資銀行／官公庁・公的機関／事業会社との協業を重点化し、俯瞰経営支援・共同販売・M&A支援・システム実装・新規事業共創を推進します。



Appendix

会社概要

社名	VALUENEX株式会社		
事業内容	アルゴリズム事業	設立	2006年8月1日
所在地	東京都文京区小日向 四丁目5番16号		
資本金	82百万円（2026月1月31日現在）		
連結子会社	VALUENEX, Inc.（100%子会社） ※在米国		
従業員数	連結34名、単体29名（2026年1月31日時点） ※役員除く		
役員	<p>中村 達生 : 代表取締役社長 CEO / 博士（工学）</p> <p>鮫島 正明 : 専務取締役 CFO / MBA</p> <p>瀧口 匡 : 取締役 経営企画担当 / 博士(国際経営)</p> <p>Choi Jiyounng : 取締役 海外事業担当</p> <p>鈴木 理晶 : 社外取締役 / 弁護士</p> <p>松田 均 : 社外常勤監査役 / 公認内部監査人</p> <p>宮内 宏 : 社外監査役 / 弁護士</p> <p>金子 良太 : 社外監査役 / 公認会計士・米国公認会計士（ワシントン州）</p>		

MISSION .

VALUENEXは、世界に氾濫する情報から「知」を創造していく企業です。

全ての人が情報を最大限に活用する未来へ。

現代社会は情報過多の時代です。しかし、その大量の情報を適切に処理・解析できる能力が個々人に求められる一方で、情報の偏りがないことを確認することも同時に重要となっています。しかし、現状ではこれらの能力に格差が生じ、情報の活用が限定的となっています。

VALUENEXは、世界中の誰もが大量かつ必要十分な情報を独自に解析し、得られた知見を起点として新しいアイデアやコンセプトを生み出すことができる世界を実現することで前述の課題を解消し、知の創造を促進します。

誰でも知を創造できる世界の実現に向けて、私たちは情報と知識の世界において持続可能な変革と発展のために努力し続け、「知」を求める全ての人に価値を提供します。

VISION .

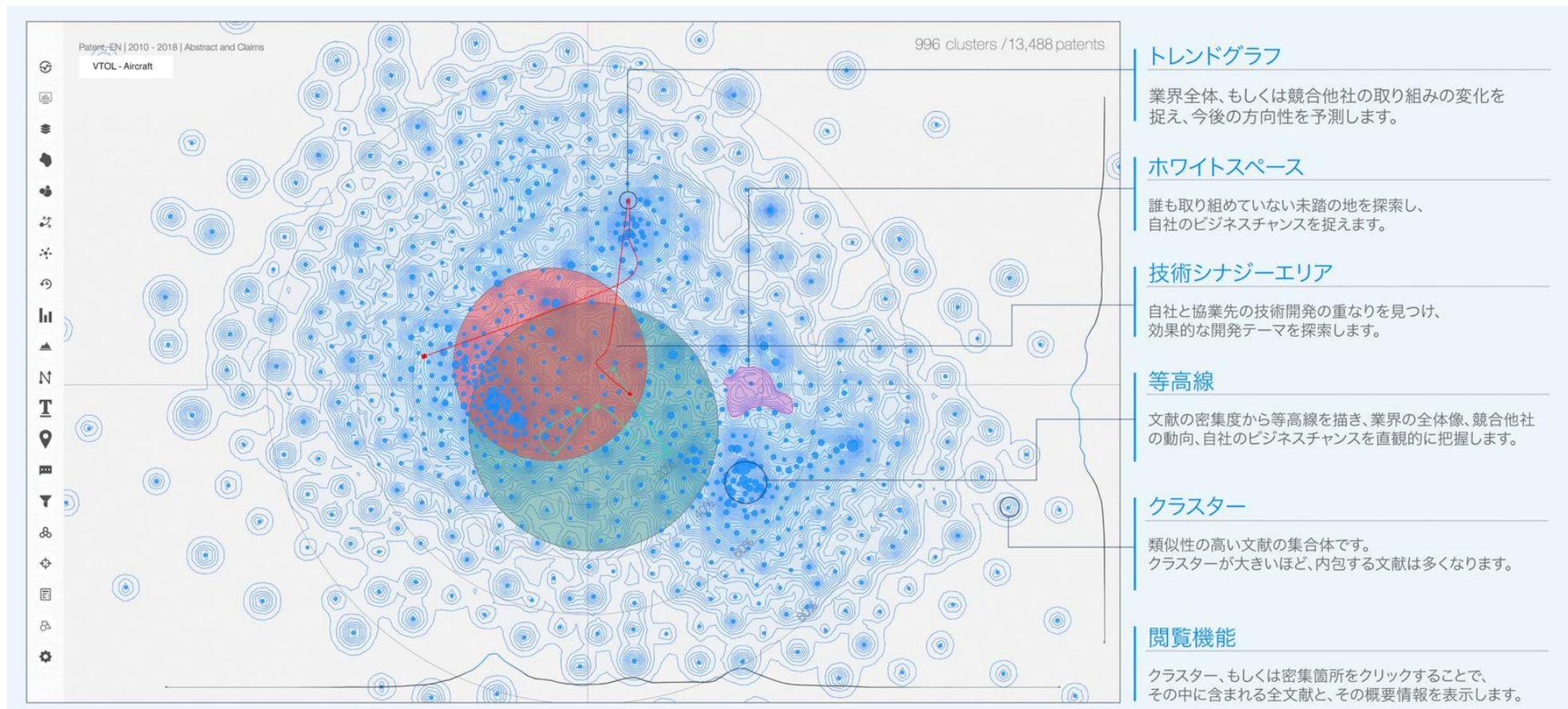
**俯瞰技術を極め、顧客のイノベーションをサポートする
世界のフロントランナーとなる。**

※イノベーションとは、経済的価値・社会的価値を生み出す新しいモノ・コトをいう

当社ASPの検索・可視化イメージ

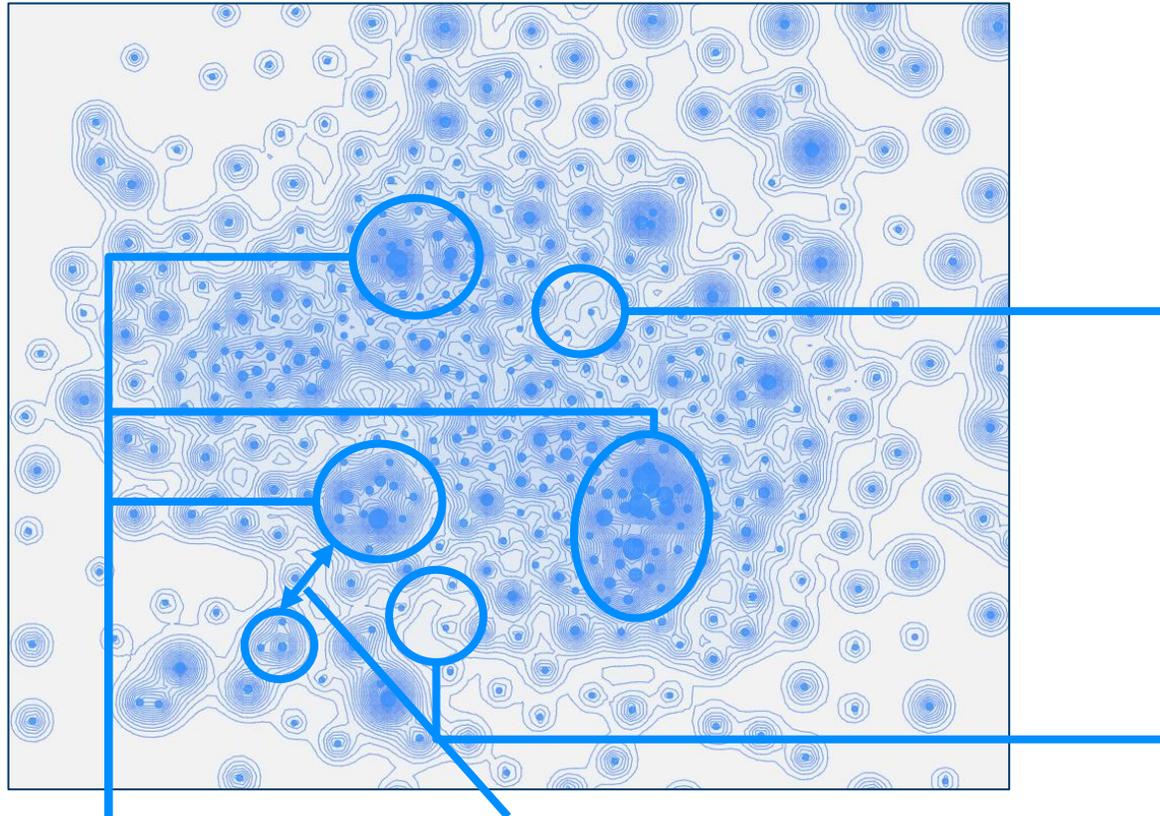
検索された文章に近い情報を短時間で収集・可視化し、欲しい情報と周辺情報が把握できます。

当社ASPのイメージ図（俯瞰図）



俯瞰図の基本的な見方

テキストデータ同士の内容の関連性に基づく配置により、大量のテキストデータの全体像を把握しやすくします。



- 各プロットは似ている文書をひとまとめにしたクラスタ
- ● クラスタの大きさは、その中に含まれる文書の数に比例
- ● ● クラスタ間の距離はクラスタ間の類似度を表現（似ているほど近い）
- ● ● XY軸は予め定義されていない。クラスタ同士の類似性を最適に表現できるように配置を決定

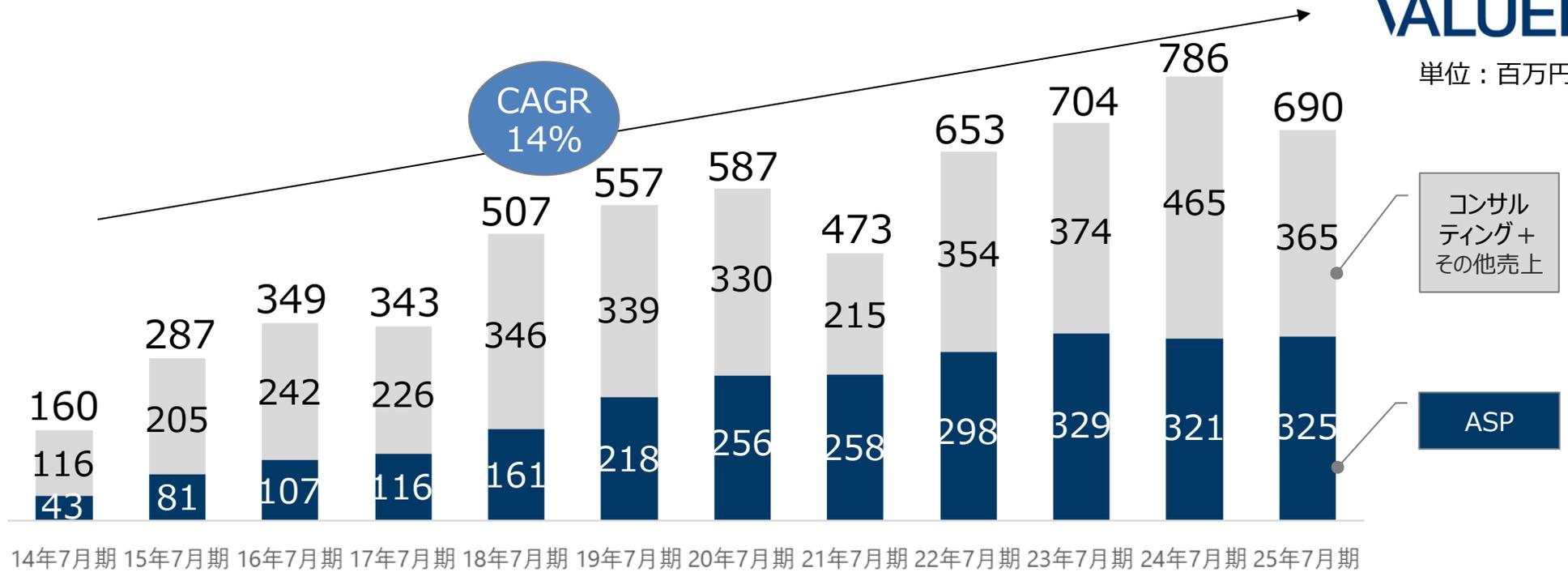
クラスタが密集
 = データセット中に多く含まれている技術や市場ニーズなどの情報

クラスタ間の距離が近い ホワイトスペース
 = 内容の関連性が高い

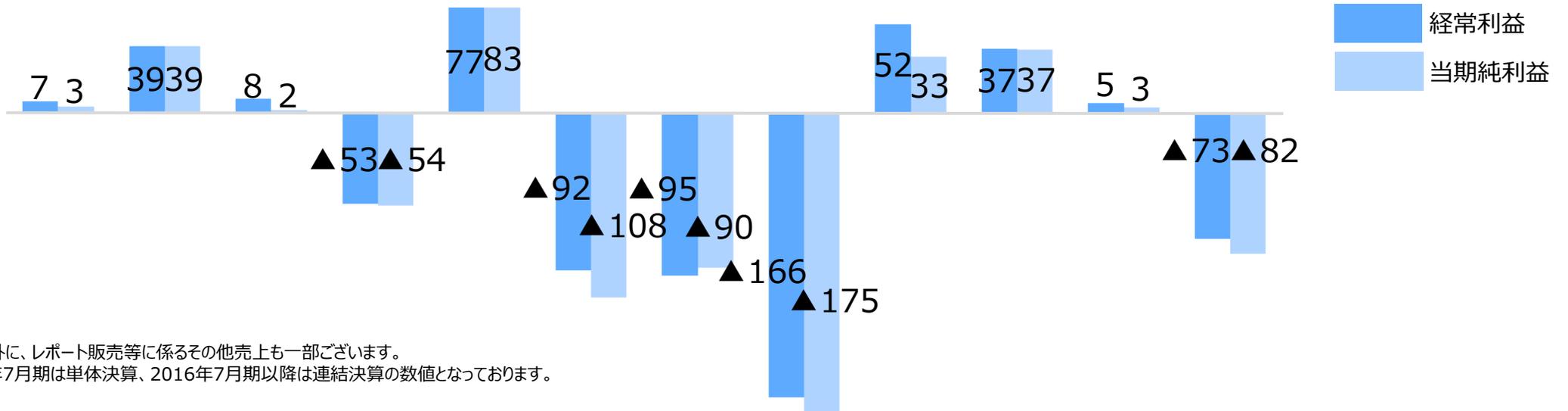
業績推移

単位：百万円

売上高注



経常利益
当期純利益



注：ASPとコンサルティング以外に、レポート販売等に係るその他売上も一部ございます。
2014年7月期、2015年7月期は単体決算、2016年7月期以降は連結決算の数値となっております。

将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

VALUENEX



www.valuenex.com
customer@valuenex.com